

市立病院からのお知らせ

MR I 装置を最新型にアップグレードしました

MR I (磁気共鳴画像) は、レントゲンやCTのようにX線を使うことなく、強い磁場の中に体を入れて、ラジオ波のような電波を体に当てることにより、体の中の様子を画像化する検査で、人体に害は無いといわれています。

特に脳や脊椎、四肢、子宮卵巣などの検査に有用です。しかしペースメーカーや磁性体の脳動脈クリップなど禁忌があるので検査の前に手術歴などの問診が必要です。

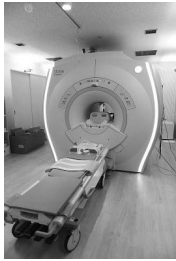
市立病院では、平成13年から15年間稼動していた装置を平成28年10月に一部を残してすべて新しくしました。

今までの装置よりも画質が向上し、より早く撮影できるように、患者さんにとって安全で質の高い診断・治療が提供できるようになりました。

院内の各診療科で入院や外来の診断に活用するほか、他の医療機関からの撮影にも、迅速に対応しています。検査前の医師の問診を実施し、患者さんの安全に配慮した検査を行っています。

検査後は、撮影画像と読影レポート(検査結果)を依頼先の医療機関に提出しています。

市立病院放射線科 ☎ 23-0611



第3回ちちぶいきあいフォーラム

～ちちぶ版地域包括ケアシステムの理解と活用に向けて～

秩父圏域1市4町では、在宅医療介護の連携により誰もが住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるよう「ちちぶ版地域包括ケアシステム(愛称、ちちぶいきあいシステム)」の構築を進めております。

今回は秩父圏域をめぐる医療の現状と介護予防から看取りまでオムニバス形式で講演等を行います。皆さんお誘い合わせてお気軽にご参加ください。

とき 8月6日(日)午後0時30分～4時、正午開場

ところ 秩父宮記念市民会館大ホール フォレスト

内容 **第1部特別講演**「秩父郡市医師会110周年記念講演～秩父地域の医療の現状と展望～」講師 秩父郡市医師会会長 近藤 俊夫先生

「劇団いきあい」公演「地域包括ケアシステムが支える地域の物語」

※いきあいシステムを分かりやすくお伝えします。

第2部基調講演その1「今日からできるフレイル予防～元気に老いるコツ」講師 秩父生協病院院長山田昌樹先生

基調講演その2「在宅でのお看取りについて」講師 南須原医院院長 南須原 宏城先生

入場料 無料

主催 ちちぶ圏域ケア連携会議

市立病院地域医療連携室(ちちぶ在宅医療・介護連携相談室) ☎ 25-5013

さらい」

内容

室2・3

ところ 歴史文化伝承館1階研修

分8時

とき ①8月30日(水)、②10月25

日(水)、③12月19日(火) 午後6時30

分8時

「認知症のことをもつと学びた

い」、「サポーターとして何か活動

できることはないか」など考えて

いる方、ぜひご参加ください。

とき ①8月30日(水)、②10月25

日(水)、③12月19日(火) 午後6時30

分8時

「認知症のことをもつと学びた

い」、「サポーターとして何か活動

できることはないか」など考えて

いる方、ぜひご参加ください。

とき ①8月30日(水)、②10月25

日(水)、③12月19日(火) 午後6時30

分8時

「認知症のことをもつと学びた

い」、「サポーターとして何か活動

できることはないか」など考えて

いる方、ぜひご参加ください。

とき ①8月30日(水)、②10月25

日(水)、③12月19日(火) 午後6時30

分8時

「認知症のことをもつと学びた

い」、「サポーターとして何か活動

できることはないか」など考えて

いる方、ぜひご参加ください。

とき ①8月30日(水)、②10月25

日(水)、③12月19日(火) 午後6時30

分8時

認知症サポーター研修会
～オレンジリングを
持っている人集まれ！～

地域包括
支援センター
だより

介護予防で
いつまでも
ハツラツと

市立病院地域包括支援センター
☎ 22-2582

「私の老後の生き方・暮らし方ノ

・ 認知症の現状と課題
・ 認知症の正しい理解
・ 認知症の人の心の世界
・ 認知症の方への接し方・対応に
ついて」
・ 認知症の介護と家族の気持ち
・ 介護現場からの報告
「認知症になっても安心な地域づ
くりに向けて」
・ 見守り、声かけのポイント
・ 声かけの実践
市立病院地域包括支援センター
☎ 22-2582

「私の老後の生き方・暮らし方ノ
ト」(全国社会福祉協議会版)を
ホームページに掲載しました。

このノトは、高齢期に備えて
自らがつくる未来予想図です。
これからの人生設計にお役立て
ください。
HP「私の老後の生き方・暮らし方
ノト」で検索！

